

学術年会開催にあたって

木内 祐二 (学術年会長)

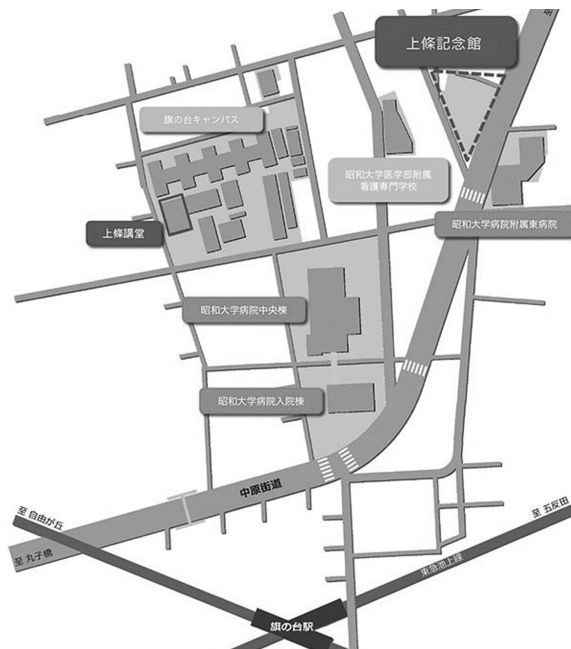
有効で安全な薬物の開発には、基礎研究の段階からヒト組織を用いた検討が望ましいというニーズに応じてHAB研究機構が設立され、現在まで多くの研究機関にヒト組織の提供することで創薬研究に貢献してきました。現在、創薬研究が多様化、高度化するとともに、創薬に対する社会の期待や法的・倫理的規制も従来からは大きく変化しています。それに伴い、ヒト組織を用いた研究に対する新たなニーズや課題も生じ、それを解決するためにヒト組織利用のための新たな仕組み作りが試みられています。また、薬物反応性や薬物動態などには大きな種差があることから、創薬研究では基礎から臨床研究まで、薬物治療の最終目的であるヒトを想定しながら、シームレスに継続的に連携しながら実施することが望まれています。

このような創薬研究のニーズをもとに、第26回学術年会では、「基礎-ヒト-患者をつなぐシームレスな創薬研究の新時代」をメインテーマとして、2日間にわたり議論していただくことといたしました。1日目のシンポジウムでは、ヒト組織利用のニーズとヒト組織提供の現状と新たな工夫・仕組み作りについて、ヒト組織を利用する立場とヒト組織提供側の立場からそれぞれ紹介していただきます。2日目のシンポジウムでは、基礎から臨床までのシームレスな創薬研究に関わる課題と展望、その実践例として、近年急速に進んだがん免疫療法開発の経緯と今後の展開について提示していただき、トランスレーショナル・リサーチ、リバース・トランスレーショナル・リサーチの在り方を討議していただきます。

さらに、「基礎-ヒト-患者をつなぐシームレスな創薬研究」として、特別講演の高見正道教授には骨代謝研究について、招待講演の青木淳賢教授にはリゾリン脂質研究について、上野直人教授には乳癌に対する免疫療法について、今までの研究と今後の展望をご講演いただきます。

さらに3日目には、がんプレジジョン医療研究センターの中村祐輔所長の企画で「最先端のがん治療はここまで来た」をテーマに、市民公開シンポジウムを開催します。

2019年に新設される昭和大学上條記念館を会場に、以上のような魅力的な内容の学術年会を準備しております。多くの皆様がご参加されることを心よりお待ちしております。



昭和大学 上條記念館 (東京都品川区旗の台1丁目1)

東急池上線・大井町線 旗の台駅東口下車 徒歩7分
都心からお越しの場合は
JR 五反田駅より東急池上線 乗換 または
JR 大井町駅より東急大井町線 乗換

<事前参加登録費>

(要旨集を含む)

HAB 研究機構正会員：8,000円 (当日：10,000円)
賛助会員：8,000円 (当日：10,000円)
(一口につき1名でそれ以上は非会員扱い)
非会員：13,000円 (当日：15,000円)
学生：6,000円 (当日：8,000円)
懇親会参加費：5,000円

事前参加申込期限：2019年5月27日

※指定の郵便振込用紙をHAB研究機構事務局まで
ご請求下さい。

<お問い合わせ・お申込み先>

特定非営利活動法人HAB研究機構

〒272-8513
千葉県市川市菅野5-11-13 市川総合病院角膜センター内
TEL 047-329-3563 FAX 047-329-3565
E-mail secretariat@hab.or.jp URL http://www.hab.or.jp

Non Profit Organization
Human & Animal Bridging Research Organization

第26回HAB研究機構学術年会

基礎-ヒト-患者をつなぐ シームレスな創薬研究の新時代

First Circular

ver. 2.0



学術年会長：木内 祐二
(昭和大学医学部)

日時：2019年6月20日(木)～22日(土)
9:30～17:00

会場：昭和大学 上條記念館

協賛： 日本薬物動態学会 日本薬理学会
日本臓器保存生物医学学会 日本再生医療学会
化学工学会バイオ部会

後援： 日本毒性学会 日本組織移植学会
日本スキンバンクネットワーク 日本臨床薬理学会

(予定)

最新情報はホームページにて (<http://www.hab.or.jp>)
公開予定です。是非ご参照下さい。

